

No.

83

平成27年2月1日発行

12月定例会

発行 秋田県鹿角市議会
編集 市議会だより編集委員会
〒018-5292 鹿角市花輪字荒田4番地1
TEL (0186) 30-0280
e-mail gikai@city.kazuno.lg.jp
URL <http://www.city.kazuno.akita.jp/>



がづの市議会だより



議会報告会(八幡平市民センター)

12月定例会	2	委員会審査ズームアップ	9
一般質問に8名登壇	3	決算特別委員会審査報告	10
議会報告会	7	議案審議結果一覧	12

第6回定例会

平成25年度決算を認定、
人権擁護委員候補者を同意

平成26年第6回定例会
が11月28日（金）から12
月19日（金）までの22日
間の日程で行われ、報告
1件、諮問6件及び最終
日に上程された補正予算
1件を含む議案25件が上
程され、適任及び原案可
決され、議員提出議案に
ついては原案のとおり可
決しました。

また、9月定例会にお
いて、決算特別委員会に
付託していた一般会計及
び特別会計の決算認定案
件8件について、委員会
審査報告ののち採決され、
いずれも認定しました。
（詳細は10～11ページに
掲載しております。）

12月定例会に提案され
ました議案の審議結果に
つきましては、12ページ
に掲載しております。

○人権擁護委員候補者の
推薦につき意見を求める
ことについて、定例会初

日に議会に同意を求めら
れ、これを全会一致で適
任と認めることに決しま
した。

▼人権擁護委員候補者

- ・安倍 憲壹 氏
（八幡平 再任）
- ・米田 優子 氏
（花 輪 再任）
- ・山口 京子 氏
（千和田 再任）
- ・青山 武夫 氏
（花 輪 再任）
- ・木下 フサ 氏
（千和田 新任）
- ・瀬川 悦子 氏
（花 輪 新任）

主な議案の審議内容

指定管理者の指定につ
いて（鹿角市立図書館）

質問

新たに指定管理者
となる株式会社リ
ブネットについて、法人
の概要についてた
だして
おります。

答弁

これに対し、本
社は三重県伊勢市に

あり、これまでの実績と
して、学校図書館業務受
託事業1820校、公共
図書館は埼玉県や神奈川
県など15館であるとの答
弁がなされております。

一般会計補正予算（歳出）

質問

医学生修学資金貸
付金について、5
名から貸与希望があると
のことだが、出身地につ
いてた
だして
おります。

答弁

これに対し、県内
が1名で、その他
は県外であるとの答弁が
なされております。

議会へ提出された

請願・陳情審議結果

平成26年第6回定例会
では、請願2件、陳情9
件（継続審査となってい
た陳情2件を含む）を審
議しました。

結果は次のとおりです。

請願

《採択》

◆米の需給安定対策に関
する請願

◆農協改革に関する請願

陳情

《採択》

◆ウィルス性肝炎患者に
対する医療費助成の拡
充に関する陳情

◆安全・安心の医療・介
護の実現と夜勤改善・

◆労働法制的改悪に反対
し安定した雇用の実現
を求める陳情

◆専ら被保険者の利益の
ための年金積立金の安
全かつ確実な運用に関
する陳情

◆介護従事者の処遇改善
を求める陳情（ほか同
題の陳情1件）

◆消費税増税に関する意
見書の提出を求める陳
情

◆年金削減の取りやめと
最低保障年金制度の実
現を求める陳情

◆集団的自衛権容認の閣
議決定を撤回し、閣議
決定にもとづく法整備
等を行わないよう関係
機関に意見書を提出す
ることを求める陳情

議会から

関係機関への意見書

12月19日の本会議にお
いて、議員より提出され
た意見書7件について、
原案可決し、関係機関へ
提出しております。

◆米の需給安定対策を求
める意見書の提出につ
いて

◆農協改革に関する意見
書の提出について

◆ウィルス性肝炎患者に
対する医療費助成の拡
充を求める意見書の提
出について

◆安全・安心の医療・介
護の実現と夜勤改善・

◆大幅増員を求める意見
書の提出について

◆介護従事者の処遇改善
を求める意見書の提出
について

◆労働法制的改悪に反対
し安定した雇用の実現
を求める意見書の提出
について

◆被保険者の利益のため
の年金積立金の安全か
つ確実な運用を求める
意見書の提出について

防災対策について

問 1月から発信する防災ラジオの難聴地区対策を伺う

答 今年度購入した防災ラジオは、一般のものよりも受信感度が高く、一部聞き取りにくいとされた地区において、雑音は入るものの聞き取れるまでに至ったところがございます。

しかし、地区によっては様々な要因により難聴が発生することが予想されますので、コード型の簡易アンテナを準備し、解消を図ることとしております。

外国人観光客の誘客対策について

問 東南アジア圏から観光客を呼び込むためのトップセールスの成果等について伺う

答 タイとシンガポールの2か国を議会、商工会などとともに訪問してまいりました。訪日向けの旅行を販売している代理店に対して売り込みを行い、その結果、本市への宿泊と観光施設が組み込まれたとお話を伺っております。今後、引き続き、トップセールスによるPRや旅

行造成への支援を継続し、受入態勢につきましても、各事業者と連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。

地域の問題について

問 認知症の患者が不明時の際の早期発見について、また、患者のケアについて伺う

答 日頃からの警察との連携は元より、見守りネットワーク協定締結の市内59事業所による日常の声かけや不明になったときの通報や捜索対応のほか、関係機関との情報共有に加え、メール配信により、多くの皆様から協力をいただきながら、早期発見に向けた対応に努めております。

患者のケアにつきましては、平成21年度から、認知症サポーター養成講座を開催し、その成果として、12月末までに市内の認知症サポーター数は2065名に達する見込みとなっております。

この中には、市全職員が含まれており、職員一丸となった見守り・支援体制の強化を図っているところであります。

質問した項目

■地方創生について（まち・ひと・しごと創生法） ■防災対策について ■再生可能エネルギーについて ■農政について ■外国人観光客の誘客対策について ■商工業について ■鳥獣被害について ■地域の問題について



宮野 和秀 議員
(誠心会)

質問した項目

■鹿角創生のための方策について ■女性が輝く鹿角について ■空き家対策について ■花輪ねぶたの国指定について ■職員の再任用について ■公文書の管理について ■市庁舎のリニューアルについて



館花 一仁 議員
(公明・鹿真会)

鹿角創生の方策について

問 政策研究所を設置し調査研究の開催状況と、その内容について

答 調査研究の進捗に合わせ、各政策アドバ

イザーから数回の指導を受けているほか、所長である副市長が、定期的に調査内容の報告を受け指示をしながら進めております。

女性が輝く鹿角について

問 女性役員・管理職の増加及び事業継承セミナーについて

答 鹿角工業振興会の主要企業の状況を見ますと、女性役員の割合が約2割で、女性管理職の割合は約1割となっております。

全国的に中小企業等の経営者の世代交代の時期を迎えている中、秋田県に限らず全国的にもまだまだ関心が高まっていないのが実情であり、事業継承への関心と理解を深めることを目的として、後継者育成や税制等をテーマとした事業継承セミナーを年2回開催しております。

空き家対策について

問 廃墟と化した空き家の実態について

答 市内の主要幹線道路沿いに、老朽化の著しい観光商業施設を9施設確認しており、それぞれの所有者に対して、適切な保全管理や除却等の対応を求めるなどの指導を行っています。

ところが、投棄場の問題や、除却費用の負担も多額に上るなどの課題があり、所有者による解体や、市の行政代執行による解体も含め、その条件整備に時間を要している状況となっております。

公文書の管理について

問 適切な管理がされているかについて

答 鹿角市文書事務取扱規程に基づいて文書

分類を定めており、法令上の規定や各文書の効力、利用度、資料価値などを考慮した上で、1年保存から永久保存までそれぞれに保存年限を設定しております。

市税に関する文書につきましても、地方税法や民法上の時効効力等を踏まえた保存管理を行っており、基準保存年限を経過した文書については、この規定に従い毎年度整理を行っているところであります。

鹿角市文化の社交流館「コモッセ」の文化ホール運用について

問 コモッセ開館記念イベントの内容とその回数を伺う

答 4月16日の開館当日は、祝の謡や吹奏楽の演奏の記念式典の他、施設全体の内覧会を計画しています。また、その週末には、市民サポーターの皆さんが自ら企画し実演する市民ミュージカルのお披露目を予定しています。

初年度は、文化ホールを中心に年間を通じて、音楽や演劇、イベントなどの企画を毎日開催する予定で、練習日等も含めてホール使用回数は240回程度です。

問 グランドピアノ「スライムウェイ」を使用するコンサート回数と、どのような条件が整えば市民が練習できるか伺う

答 市が主催する事業としては第九演奏会や市民ミュージカルなどのほかに年数回としています。

また、ピアノを習っている市民の皆様に触れていたような演奏会を企画いたします。

市民センターの跡地利用について

問 施設の改築する箇所と、跡地に入居する予定の団体を伺う

答 鹿角地方職業能力開発協会及び鹿角工業振興会から、移転に関する要望書が提出され、隣接するかづの商工会と連携した新たな雇用促進エリアとして整備することとしました。

なお、講堂棟は補強工事、管理棟は一部改修が必要なので、実施した後、平成27年入所予定です。

花輪祭について

問 花輪ばやし国指定重要無形文化財後の来年度予算について伺う

答 今年度に引き続き、人材育成や普及啓発継承事業を実施するほか、屋台修復に向けて委員会を開催する予定です。

問 花輪ねぶたが全国紙に取り上げられるほど貴重なねぶたである。市のPR方法を伺う

答 花輪ばやしを核としながら、花輪ねぶた町おどりにについても関係団体と連携を図りながら一体的なPRを推進します。

質問した項目

■鹿角市文化の社交流館「コモッセ」の文化ホール運用について ■市民センター跡地利活用について ■鹿角の観光について ■花輪祭について ■鹿角市の自殺対策について



吉村 アイ 議員
(無会派)

質問した項目

■子育て支援対策について ■鹿角市介護保険事業計画について ■伝説の里・かづの体感泊覧会について ■小倉百人一首かるたの普及推進について ■花輪スキー場アルペンコースの安全対策について ■富士川河川改修事業について ■花輪大堰水路の整備について

中山 一男 議員
(誠心会)



保育士の確保について

問 全国的に、保育士不足であるが、本市の保育士の確保は万全なのか

答 28年度にオープンする認定こども園への保育士配置予定数を考慮し、鹿角市子ども未来事業団の保育士定数を、90人から110人に変更し増員を図ってまいります。

保育士の確保は必要であり、再雇用制度の活用や保育士が、産休・育休を取得しやすい環境づくりなどに努めるなど、さまざまな対策を講じてまいります。

病児保育について

問 働く子育て世帯への支援として、病児保育を実施する考えはないか

答 小児科医師との連携や専用居室の確保などの課題があり、これまで実施に至っておりませんでした。現在、来年度からの実施に向けかづの厚生病院と協議を進めております。

介護保険料について

問 第6期介護保険料の改定にあたり、介護給付費準備基金を取り崩して、保険料の軽減に充てられないか

答 平成25年度末の現在高は約1億5400万円、この基金を充当し保険料を軽減することとしております。

花輪スキー場アルペンコースの安全対策について

問 昨年の事故の再発防止対策として、どのような対策を講じたのか

答 指定管理者側との連携により、コース場を総点検し、注意喚起看板の追加、安全ネットの設置、事故対応マニュアルの総点検等を行い、スキー授業では、ヘルメットの着用を義務化し、その一般貸出も行う準備を進めております。

花輪大堰水路の整備について

問 県営基礎調査事業は具体的にどの程度の改修事業を行うのか

答 県から、平成28年度平成25年度から3力年で、現況測量や概略設計等を行うと伺っており、対象区間は、花輪浄水場から砂森官有地付近の約3キロメートルで、事業期間は、平成28年度から5力年を予定しております。

出会いや結婚の支援について

問

未婚者の増加、晩婚化の課題を解決するため、本市としてカップリングを支援する専門の部署が必要と思うが考えを伺う

答

現段階においては専門部署を設置するのではなく、各種支援制度の更なる周知拡大を図るとともに、意欲的に取り組んでいたにいたるサポートや市民団体との連携を強化しながら、出会いの機会をより多く提供できるように支援を進めてまいります。

認定こども園

建設事業について

問

平成28年4月開園予定の認定こども園の概要について伺う

答

認可保育園の機能と保育に欠けない児童も利用できる幼稚園的機能を併せ持つ保育所型認定こども園を整備してまいります。定員は、認可保育園部分は60人、幼稚園機能部分は10人と設定し進めております。また、施設内に相談室を設け、入園していかない地域の子育て世帯の相談に対応するなど、相談機能を

強化している面も特徴となっております。

東南アジア諸国観光客誘客キャンペーンについて

問

呼び込むための方策と今後の展開について伺う

答

現地旅行代理店からは本市の観光素材へ高い評価をいただき、これらを誘客につなげるため、現地の言語によるパンフレットの作成、現地で開催される旅行イベントでのPRや継続的なセールス、動画や写真などの情報をSNSで拡散することなどを考えております。

自治会活動の支援について

問

自治会館建設事業費補助制度の補助要件見直しについて伺う

答

現行の制度では、改修事業により補助金利用後10年間は当該補助金を利用できないこととなっておりますが、改修内容によつては10年以内に修繕を必要とするものや、予期せぬ修繕が発生する場合もあり、より利用しやすい制度への変更を検討してまいります。

質問した項目

■ICTを活用した市民と共働のまちづくりについて ■交流人口の拡大について ■自治会活動の支援について ■出会いや結婚の支援について ■認定こども園建設事業について



児玉 政明 議員

(公明・鹿真会)

質問した項目

■成年後見制度への取り組みについて ■弱者の足確保対策について ■観光について ■災害復旧について

田口 裕 議員

(無会派)



成年後見制度への取り組みについて

問

老人福祉法の改正により、後見人の育成と活用が市の努力義務となっているが、市の取り組み状況はどうなっているか

答

社会福祉協議会に事業を委託し専門職員や先進地視察、市民向けパンフレット製作などの経費を支援してまいります。

また、成年後見制度の利用が可能であるにもかかわらず、理解不足や費用負担が困難という理由で介護サービスなどの利用が進まないといった事態に陥らないよう、引き続き関係機関と連携しながら制度周知に努めてまいります。

問

地域の人が地域内の認知症者を支えているが、市民後見人の育成が急務と考えるがどうか

答

今年度行う「成年後見制度に関する二一ズ調査」を踏まえ、社会福祉協議会や法テラス鹿角などの関係機関と連携を図りながら体制づくりを進めてまいります。

弱者の足確保対策について

問

公共交通体系とは別の取り組みが必要と考えるがどうか

答

今年度、公共交通に不便を感じている集落において座談会を開催し、その中で地域乗合交通についても紹介、地元自治会などがタクシー会社と契約し、乗合予約や取りまとめを行い、最寄りの交通結節点まで定時あるいは随時運行する仕組みであり、モデル的に実証事業に取り組んでまいりたいと考えております。

観光について

問

観光地としての受け入れ環境・体制が弱体化していると思うが、その対応をどのように考えているのか

答

宿泊客の受け入れの感触としては昨年並みか若干それを上回っている状況と伺っており、観光客の受け入れに必要な力は衰えてない判断しております。

今後も継続的に鹿角の魅力や情報を発信しながら、受け入れ環境の整備や体制の強化を図ってまいります。

**本市稲作の現状と
取り組みについて**

問 米価の大幅な下落により稲作農家の不安の声が多く聞かれる。農家が元気に前向きに稲作に取り組むための施策が必要と思うがいかがか

答 全国的な米消費量の低迷による、余剰米の増加と米価の下落を背景に、国では「コメの直接支払交付金」を半分以上で減額し、主食米から飼料米などへの転換を図る施策が進められております。

これに加え26年産米の概算払い金が過去最低になるなど、主食米を取り巻く営農環境は一層厳しくなっているものと認識しております。

こうした状況から、高い需要が見込まれ、かつ、国の交付金も有効に活用できる非主食米や、市場性の高い野菜などへの転換を図ることで、活力ある営農が継続できるものと考えております。

問 稲作農家への支援策として例えば、種もみへの支援、燃料費、あるいは農地の固定資産税の減免など、何らかの支援が必要と考えるがいかがか

答 県では、概算払いの大幅な下落に伴い、農業経営の維持、安定を資金面で支援することを目的として「稲作経営安定緊急対策資金」を実施しておりますが、市では、この資金の利用者が負担する保証料0・5%の費用負担に対し全額を助成することとしております。

来年度以降の種もみや燃料費等の支援策については、市では、主食用米から非主食米や野菜などへの作付転換を今後の農業施策の基本的な方向性としていくことから、特段の支援策は予定しておりませんが、主食用米の中でも、「淡雪こまち」に関しては、当市のブランドアップ事業の重点品目の一つであるので、引き続き生産拡大について支援してまいります。

質問した項目

■本市の稲作の現状と取り組みについて ■市長のタイ・シンガポール訪問について ■本市の脳卒中患者対策と健康づくりについて ■高齢者、障害者世帯に対する除雪対策について ■医師修学資金貸付制度について ■集落支援事業について



和井内 貞光 議員
(無会派)

質問した項目

■第6次総合計画について ■第8次鹿角市行政改革について ■文化の杜「コモッセ」(つどう・にぎあう・文化交流の杜) ■空き家対策について ■人口減少と雇用について

高杉 正美 議員
(無会派)



第6次総合計画について

問 淡雪こまちの売れ行きをどの程度把握しているか

答 平成25年度は7500俵収穫され、600俵が全農へ、1500俵はJAかつのが直接販売し、うち150俵が残っているものの契約済みであり、出荷待ちであります。

問 新品種「秋のきらめき」が淡雪こまちと競合するのは

答 平成26年度に市内3箇所です証栽培しており、一般流通はせず、卸業者の販売促進に利用されております。平成27年度からは、鹿角地域のみで栽培が行われる予定であり、プレミアム品として100ヘクタール未満の規模で作付し、一般流通する予定です。

問 地域の文化財保存に子ども達も関わる必要では

答 ふるさとキャリア教育で、ふるさとを愛する心と、社会人として目指す人間像を育てる教育を行っております。その中で、地域の伝統文化に関心をもち、引き継いでいくことが

望ましいと考えております。

問 「コモッセ」(つどう・ふれあう・にぎあう・文化交流の杜)

答 コモッセと一体となつたにぎわいづくりのため、市道文化の杜線を直進し商店街へ接続できないか。

問 市民からの要望も出ており、検討してまいります。

人口減少と雇用について

問 生産人口(若年)人口減が心配されるが各企業の雇用環境について伺う

答 雇用の安定、雇用の創出を最重要施策に挙げて取り組みを進めてきており、企業立地助成制度の見直しなど、事業の拡大や高度化に取り組む市内企業を支援し、雇用の維持拡大に努めております。

若年者の雇用対策につきましましては、新規卒者を雇用した事業所に対する助成や、雇用後に会社定着を図るための研修支援、さらには関係機関と連携し、就職支援を行って一層の地元雇用の拡大と定着に努めてまいります。

議会報告会 市民と語る会

鹿角市議会基本条例に基づく議会報告会は、平成26年11月21日、22日の2日間、3班に分かれて市内6会場で行い、あわせて50人の方よりご来場いただきました。今回も会場準備、受付、進行等をすべて議員が行い開催いたしました。

当日は、第1部として、前回の報告会からの議会の動きとして定例会や常任委員会での行政視察、決算特別委員会の審議内容等についてご報告し、第2部では、1班と2班が「地域の活性化について」、3班が「雇用問題について」と、各班ごとにテーマを設定し意見交換を行ったほか、ご参加いただいた皆さまと市政や議会に対しての活発な意見交換を行うことができました。

議会に対する厳しいご意見や激励のお言葉など、大変貴重なご意見をいただきました。当日、皆さまから出された意見、要望、アンケートの主な内容は次のとおりです。

■会場で出された主な意見・要望等■

◆宮城県議会では地元新聞に議会だよりを掲載しており、市広報との一体化などもっと方策を検討してはどうか。

◆行政視察について、行った目的や効果をもっと発表すべき。

◆きりたんぼ発祥の地といっているが、大館市の方が盛んだと思う。PR下手ではないか。

◆ふるさと納税について、他市町村のように積極的に活用してはどうか。

◆武道場をどこに建てるかなど市民はよく知らない。どの程度将来を担う子供達が使うかなど調べているか。

◆買物弱者対策について、配送サービスもいいが、買物をする楽しさを奪っていないか。一緒に連れていくサービスを導入できないか。

■アンケート結果■

参加者50人 回答37人

- ・テーマに合わせて自由に話しができたのが良かったです。結論はすぐには出ないでしょうが、少しでも反映させていただければありがたい。そうすればこの会も開いた効果があると思います。
- ・原案どおりだけでなく、意見や大きな質疑が出た部分も入れながら話してみてもどうか。議会の動きが分かるような報告になると良いと思うが。
- ・参加する地域住民がいっぱい集まるように対策して欲しい。
- ・将来の鹿角市の姿を明確にして重点を置いたまちづくりを市に求め、そして提言して欲しい。

秋田県北部市議会 連絡協議会

去る10月23日（木）、秋田県北部市議会連絡協議会による総会・研修会が大館市を会場に開催されました。同協議会は、県北4市（鹿角市・能代市・大館市・北秋田市）における広域的な課題について協議する場として、平成8年に発足したものです。

総会では、要望活動を行う協議会について協議し、鹿角市議会からは、4市議会共同提出として「地方空港の存続について」「八戸・能代間、北東北横断道路の整備促進について」の2議案を提出したほか、北秋田市議会とともに「医師養成・確保と地域への均衡ある医師配置について」を共同提出し、全6議案が満場一致で可決決定されました。

承認された要望は、11月12日及び13日に4市議長及び副議長が県選出国會議員へ陳情いたしております。

また、当日は研修会も行われ、佐藤大館警察署生活安全課長を講師として「特殊詐欺の現状と対策について」ご講演いただきました。



て」ご講演いただきました。

《承認された要望》

- ◆地方空港の存続について（提出（以下同）4市）
- ◆医師養成・確保と地域への均衡ある医師配置について（北秋田市・鹿角市）
- ◆再生可能エネルギーの導入拡大に向けた条件整備の早期実現について（能代市）
- ◆日本海沿岸自動車道の整備促進及び早期完成について（北秋田市・能代市・大館市）
- ◆八戸・能代間、北東北横断道路の整備促進について（4市）
- ◆小・中学校における特別支援教育の体制強化について（大館市）

議会運営委員会 派遣調査報告

(東京都多摩市)

多摩市では「議会運営について（決算と予算の連携について）」調査してまいりました。

多摩市議会は、平成16年までは鹿角市と同様に、9月定例会において、議員の半数で決算特別委員会を設置し、12月定例会で議決をしておりますが、予算編成時に決算で出された意見が反映されているか分かりにくいことから、試行錯誤の末、平成24年から6月定例会において、全議員からなる予算決算特別委員会（以下、委員会）を設置し、3月定例会で予算審議が終了後に委員会を解散して、予算決算を連動して審議できる仕組みとしました。

委員会は、4つの常任委員会をベースとする分科会と、会派の代表者等で構成する理事会があり、理事会で委員会の方針や分科会で行なう決算における事業評価の方針の取り決め、分科会では決算における事業を1から2事業に絞って評価

を行い事業評価シートを作成し、委員会全体会で分科会から提出された評価を取りまとめ、決算審査事業評価を作成し、9月定例会中に決算の審議をおこない、予算編成までに決算審査が終わるようにしております。

また、議会としての決算審査事業評価を市長に提出しており、事業の必要性、公共性、費用対効果、成果に分けて事業を評価し、予算審査時に、決算審査での審議内容が活かされるようにしております。

（参加委員名）兎澤祐一、福島壽榮、児玉政明、中山一男、小田修、田村富男、倉岡誠



世紀越えトンネル建設へ向けて

全体会

鹿角市議会と青森県田子町議会と構成する「世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会」は、12月3日に田子町中央公民館で全体会を開催し、今後の活動方針を話し合いました。

同協議会は、鹿角市大湯と田子町夏坂のトンネル建設を含めたバイパスルート（16・7キロ）の整備を目的に両市町の全議員（鹿角市19人・田子町10人）で構成しております。

全体会には26人が出席。要望活動の報告に続き、今後の活動について意見交換が行われ、フォーラム開催では「八戸、能代間の関連市町議員による勉強会を開いてはどうか」「地域住民を巻き込んだ活動とすべき」「要望活動については「必要性の根拠を明確にすべく、地元産業界の声を吸い上げ費用対効果を示せるようにすべき」などの提言が出され、引き続き団結して取り組むこととしました。

要望活動

10月2日に秋田県知事及び秋田県議会議長、10月9日に青森県知事及び青森県議会議長に対し要望活動を実施いたしました。

この要望活動は、「八戸、能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会」（会長・児玉市長）が実施する要望活動の中でも重点事項である世紀越えトンネルの重要

性を訴えるため、田村会長（鹿角市議会議長）・沢口副会長（田子町議会議長）をはじめとする役員が出席いたしました。

席上、「秋田県では、日治道整備に予算を重点配分しており、本路線については高速道のミッシングリンク解消にめどが立った後の課題と捉えている」、青森県議会議長からは「整備の必要性は承知している。秋田青森両県の協力で進めていかなければならない」などの意見が出されました。



教育民生

これに対し、不動産との答弁がなされてお
売払収入の立売払収ります。

また、動産売却収入については、消防ポンプ車、給食配送車など、不用となった公用車等の物品売却による収入であるとの答弁がなされております。

これに対し、普通財産で使用されていたPCB関連の物品は、変圧器や、トランス、安定器については、コンデンサーも含め、33台分を保管している。こ

これに対し、平成25年度は災害等のため、全額繰り戻すこととはで
に委託するものであるとの答弁がなされております。

00万円を積み立てていることから、今回の財源調整による繰戻しの結果、現段階で2億9758万6千円の繰り入れとなっており、昨年度末基金残高は維持できる見込みであるとの答弁がなされております。

これに対し、普通財産で使用されていたPCB関連の物品は、変圧器や、トランス、安定器については、コンデンサーも含め、33台分を保管している。こ

に委託するものである
との答弁がなされてお
ります。

産業建設

◇鹿角市定期市場の指定管理者の指定について、市場内における利益についてただしてお

これに対し、利用客の動線を考慮しながら食堂周辺の出店場所について、この秋に配置の見直しを行っておりこの結果、人の流れが改善されている旨、指定管理者から報告を受けている。また、食堂については、現在出店す。

者を通じて利用客の把握に努め、市場の賑わいの創出に繋げていきたいとの答弁がなされております。

これに対し、松山跨線橋の補修設計業務に關するもので、JRの跨線橋の落橋防止装置の整備について、想定

◇平成26年度鹿角市一
般会計補正予算（第8
号）中、園芸振興費の
「園芸振興事務費」に
なつたための、追加補
正であるとの答弁がな
されております。

決算特別委員会 審査報告

決算特別委員会（中山一男委員長）は、10月20日及び21日の2日間にわたり認定案件8件を審査した結果、いずれも認定すべきものとし、今定例会初日に報告しました。

以下、審査の概要をお知らせいたします。

◇一般会計

《歳入》

1 款市税では、不適切処理に関わる復活調定額分が、収入済み額の中に入っているのか、また、不納欠損額が増えたことは、不適切処理とは関係があるのか。さらに、不適切処理に関する訴訟事件の状況についてたまたのところ、復活調定額分の25年度末時点の収入済み額は、732万3700円であり、不納欠損額の増額については、3年ないし5年前に、税を負担する担税力がなかった方が、25年度欠損の中に出てきたもので、昨

年の市税の不適切処理とは直接影響はないと考えている。訴訟関係については、現在、係争中のため、内容については控えさせていたが、26年3月7日から9月26日までに、4回にわたって公判が開催されているとの答弁がなされております。

また、委員からは、地域の活性化により、市税が伸びる状況になると思うので、その点を十分に分析をし、個人の所得や、農業の所得が伸びるような政策を検討していただきたいとの意見が述べられております。

20 款市債では、収入済額が、ゼロである庁舎設備整備債、都市計画整備債、文教施設災害復旧債の3項目についてたまたのところ、事業費を平成25年度で予算化していたが、平成26年度に繰り越しになったため、収入済額がゼロとなっており、この分の借り入れは、平成26年度になるとの答弁がなされております。

《歳出》

2 款総務費では、空き家等適正管理推進事業の、進捗状況についてたまたのところ、平成25年度は予定どおり実態調査を行ったほか、空き家の所有者への意向調査を行っている。この意向調査の結果をもとに、利活用に向けた取り組みとして、データーバンクへの登録を推進するとともに、大きい道路に面して、景観上問題のある空き家もいくつかあることから、今後調査を進め、どのような対応ができるか検討を進めているとの答弁がなされております。

3 款民生費では、精神障害者ナイトサービス事業委託料の事業内容と、利用人数、実施団体についてたまたところ、この事業は、精神に障害を持つておられる方に対して、日中はデイサービス等のサービスがあるが、夜間どうしても精神的に安定しない方に対してNPO法人鹿角親交会が、平成23年度から、午後5

時から午後10時までケアを実施しているもので、平成25年度は、月平均36名、年間で延べ1034名が利用しているとの答弁がなされております。

5 款労働費では、シルバー人材センターの、高齢化社会に対する対応について、たまたところ、現在いる会員の中で、ローテーションを組みながら、多くの受注にこたえられるよう、創意工夫しているとの答弁がなされております。

6 款農林水産業費では、直売所の状況と、核となる直売所の設置について、たまたところ、市内の直売所は、現在11ヶ所あり、売り上げは、約3億円弱である。核となる直売所については、過去に、県が窓口となる鹿角地域直売企業活動連絡会で、直売所の統合など、会員の意向調査を行っているが、どの直売所も、固定客がついており、また、大きく広げるとなると、場所選定の問題があるた

め、現在のままで行いたいという意見が多数であるとの答弁がなされております。

また、農業経営基盤強化促進対策費について、新規就農者への支援と、経営状況についてたまたところ、22組合24名の方が、青年就農給付金を、年間150万円の補助金を受けて就農しており、補助金の交付目的から、独立した部門を設定し、就農しなければならぬことから全員独立して就農しているとの答弁がなされております。



7 款商工費では、鹿角市ブランドアップ戦略推進事業の内容についてたまたところ、市役所が独自で、ポータルサイトを構築して、情報発信を強化する事業と、観光物産公社がECサイトで、物販の通信部門を構築する2つの事業からなっている。サッカー協会に委託した事業は、市のポータルサイトを構築するための経費であり、物販部門については、6月30日現在、掲載商品数は53アイテムで、月別の売り上げ実績は、6月の実績で、商品販売数が105、販売金額が10万3000円であるとの答弁がなされております。

童・生徒数がなくなってきたという現状であり、特に、小学生は遠距離になれば、学校への通学が徒歩では困難であるため、スクールバスのさらなる活用の方法や、運行方法について、検討をしていただきたいとの意見が述べられております。

12 款公債費では、今後の公債残高のピークと、償還のピーク及びその金額についてたまたところ、地方債の現在の試算は、平成29年が190億円ほどの見込みであり、返済は将来負担比率で、平成28年度が82%台後半、実質公債費比率は、単年度では平成36年が12%台前半、3ヶ年平均では平成36年、37年あたりが12%弱で、それぞれピークを迎えるとの答弁がなされております。

10 款教育費では、スクールバス委託料について、バスの利用状況等についてたまたところ、大湯小学校が6名、八幡平小学校が114名、十和田中学校137名、八幡平中学校が6名となつておるとの答弁がなされております。

また、委員からは、児童・生徒数がなくなってきたという現状であり、特に、小学生は遠距離になれば、学校への通学が徒歩では困難であるため、スクールバスのさらなる活用の方法や、運行方法について、検討をしていただきたいとの意見が述べられております。

◆特別会計
国民健康保険事業特別会計について、約1億9900万円が次年度へ繰越された中で、26年度国保税を値上げした根拠

についてたまたところ、繰越金は法定外分の繰り入れ2億472万6000円を入れたの数値であり、また、結果的に、冬期間のインフルエンザ等の流行が無く、医療費が想定した予算よりも下回ったほか、3月に医療費増加分に対する、国からの追加交付があったことによるものである。

税率の引き上げ根拠については、26年度の当初予算編成時において、過去3ヶ年の一人あたりの医療費の、平均伸び率などを基に算定した保険給付費から、国・県などの補助金を差し引いた需要額が、現行の税率では賄えない状況となつていたことから、平成26年度に税率を引き上げたものであるとの答弁がなされております。

後期高齢者医療特別会計について、歳入の後期高齢者医療保険料の不納欠損について、後期高齢者医療費は、年金振込時に引き去りされるが、どのような場合に、不納欠損が生じるかたまたところ、通常の場合、特別徴収として年金からの天引きになるが、特別徴収の対象にならず、納付書で納めていただく普通徴収もある。生活困窮や、居所不明等により、保険料が2年間で時効を迎える場合もあることから、不納欠損が生じているケースがあるとの答弁がなされております。

下水道事業特別会計について、下水道の整備率と、加入促進の取り組みについてたまたところ、水洗化率は56・3%とかなり低い状況であるが、現在水洗化していない箇所へ、個別にどのような状況であるか聞き取りをしながら現状把握をしており、制度を周知しながら、水洗化をお願いするなど、今後も引き続き、個別に対応していきたいとの答弁がなされております。

農業集落排水事業特別会計について、農業集落排水事業については、何



【第6回定例会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
〔市長提出〕	
◇平成25年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市大湯財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	（報告）
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇専決処分の承認を求めることについて（平成25年度鹿角市一般会計補正予算（第7号））	承認
◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
◇教育委員会の教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市立図書館）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角アメニティパーク、花輪スキー場、鹿角市総合運動公園、かづのパークゴルフ公園）	原案可決
◇指定管理者の指定について（水晶山スキー場）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市子ども未来センター）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市定期市場）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市交流プラザ）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市中滝ふるさと学舎）	原案可決
◇市道路線の廃止について	原案可決
◇市道路線の認定について	原案可決
◇鹿角市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市かづの牛生産育成施設条例の一部改正について	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市上水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
〔議員提出〕	
◇米の需給安定対策を求める意見書の提出について	原案可決
◇農協改革に関する意見書の提出について	原案可決
◇ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	原案可決
◇安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について	原案可決
◇介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	原案可決
◇労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める意見書の提出について	原案可決
◇被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書の提出について	原案可決

編集後記

12月定例会を終え、改めて昨年を振り返ると、米価の下落、果樹の枯死被害等農家の皆さんにとっては、大変厳しい年であったように思われます。

その一方で、花輪ばやしの国重要無形民俗文化財指定や、国民文化祭での「神楽」と「小倉百人一首」のイベント開催等、喜ばしい出来事もありました。

今年4月には、市民待望の文化の杜交流館「コモッセ」がオープンします。

これを本市の大きな財産と捉え、市議会としても、皆さんの期待に応えられるよう、努めてまいります。ひつじ年、皆さんにとって暖かい一年でありますように。（安保）

市議会だより編集委員

委員長 館花 一仁

副委員長 安保誠一郎

委員

児玉 政明

和井内 貞光

児玉 悦朗